

呉市観光振興計画(案)について

はじめに ～この計画が一番伝えたいこと～

(本編 P 1)

呉市が活気にあふれ

私たちが豊かで幸せに暮らし続けていくためには

現在の
約3倍!

観光客に使ってもらうお金を

年間 800 億円 にすることが必要です!!

雇用創出!

郷土愛!

にぎわい!

所得 UP!

移住定住!

私たち呉市民が、呉を訪れる全ての観光客に満足してもらおうという気持ちを持つことは、呉で使ってもらうお金（観光消費額）を増加させることにつながります。

この観光消費額を、1年ごとに17億円増やして、将来的に令和元年の約3倍である年間800億円にすることができれば、所得増加、新たな雇用やにぎわいの創出、移住定住促進、さらには郷土愛の高まりにつながるなど、私たちの生活の中に様々な効果がもたらされます。

この計画は、観光産業の発展により、私たちの生活が豊かになり、まちに幸せと誇りを実感し続けられるように、市民・事業者・行政など観光に関わる全ての人が、共通の認識を持って観光産業を推進していくための方向性を示しています。

1 私たち呉市民が観光に取り組む理由

(1) 人口減少社会の到来

我が国では、人口減少と少子高齢化が急速に進展しています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、平成27年時点で約1億2,700万人の人口は、50年後の令和47年には約8,800万人となり、このうち生産年齢人口(15～64歳)は、約4割の約3,200万人が減少すると推計されています。

こうした人口減少は、地域経済を脅かす要因となるため、今後は市外から呉市へ訪れてもらい、関係人口を拡大していくなど、地域活性化の取組が重要となります。

(2) 国の観光に対する取組

国は、今後の人口減少社会が見込まれる中で、観光が地域経済の活性化・雇用機会の増大など、国民経済のあらゆる領域にわたってその発展に寄与するものであり、同時に国民生活の安定向上に貢献するものであるとして、平成19年に観光立国推進基本法(平成18年法律第117号)を施行し、観光立国の実現を目指すため、大胆な改革に取り組み、平成29年には、訪日外国人旅行者数が平成19年の約3.4倍の2,869万人に達しました。

こうした観光をめぐる情勢を踏まえ、国は観光が成長戦略の柱、地方創生の切り札として、「観光先進国・日本」への飛躍を図ることを目的に、平成28年に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、観光産業を我が国の基幹産業へと成長させていくことを目指しています。

(3) 観光がもたらす経済効果

国が、「観光先進国・日本」への飛躍を目指している背景として、観光産業が発展することによってもたらされる経済効果が大きいということがいえます。

観光客の多種多様な消費活動の効果は、原材料の発注先である農業や水産業、製造業など様々な業種に波及するため、所得の増加、新たな雇用やにぎわいの創出、移住定住促進や市民の郷土愛の高まりにつながるなど、地域産業の活力と市民生活の向上を図ることが可能になります。

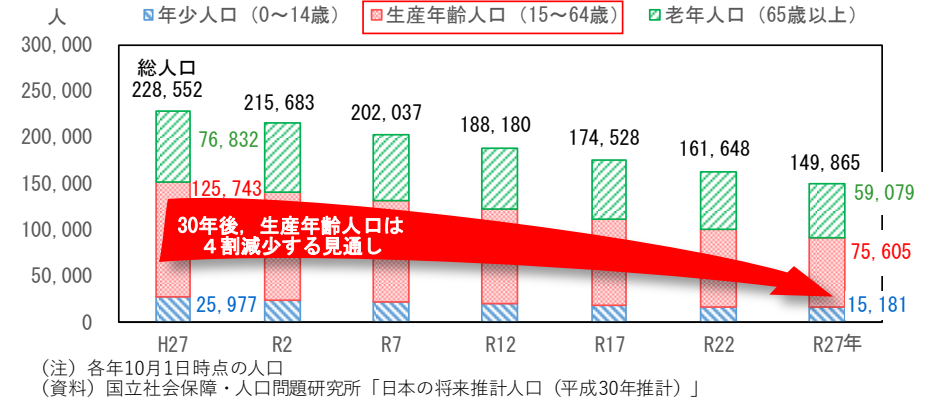
観光は、地域全体に幅広い経済効果をもたらす裾野の広い総合産業といえます。

2 呉市における人口減少などによる個人消費の影響

(1) 呉市における人口減少の見通し

呉市の人口は、国と同様に少子高齢化が進展し、人口減少が加速しています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、平成27年時点で228,552人の人口は、30年後の令和27年には149,865人となり、このうち生産年齢人口（15～64歳）は約4割減少し、75,605人になると推計されています。

【呉市の将来推計人口】

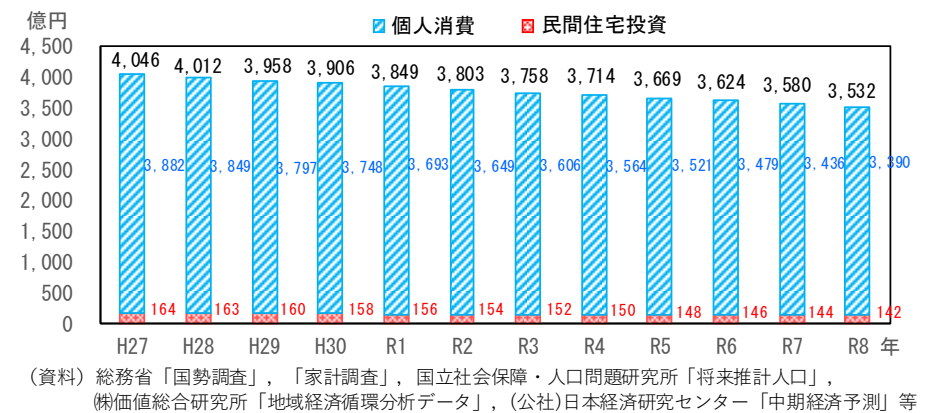


(2) 人口減少に伴う個人消費と民間住宅投資の減少の見通し

生産年齢人口が減少するという事は、それだけ消費を行う比率の高い人口が減ることになります。

そこで、人口が減少することにより家計の支出がどの程度減少するのか推計するため、家計の代表的な支出である個人消費と民間住宅投資の減少額を推計したところ、平成27年時点で4,046億円の合計額は、令和8年には3,532億円となり、毎年約45億円ずつ減少する見通しです。

【呉市の個人消費と民間住宅投資の見通し】



3 計画策定の目的

人口減少や高齢化による個人消費の減少は、今後の地域経済を脅かすことはもちろん、今あるコミュニティの崩壊や産業の衰退、文化の消滅などが懸念されることから、観光という総合産業を新たな基幹産業へ成長させることによって、地域産業の活力と市民生活の質を維持・向上させていく必要があります。

そのため、観光を基幹産業に成長させるための今後の方向性を明確にし、市民・事業者・行政など、観光に関わる全ての人が共通の認識の下、観光産業を推進していくための「呉市観光振興計画」を策定するものです。

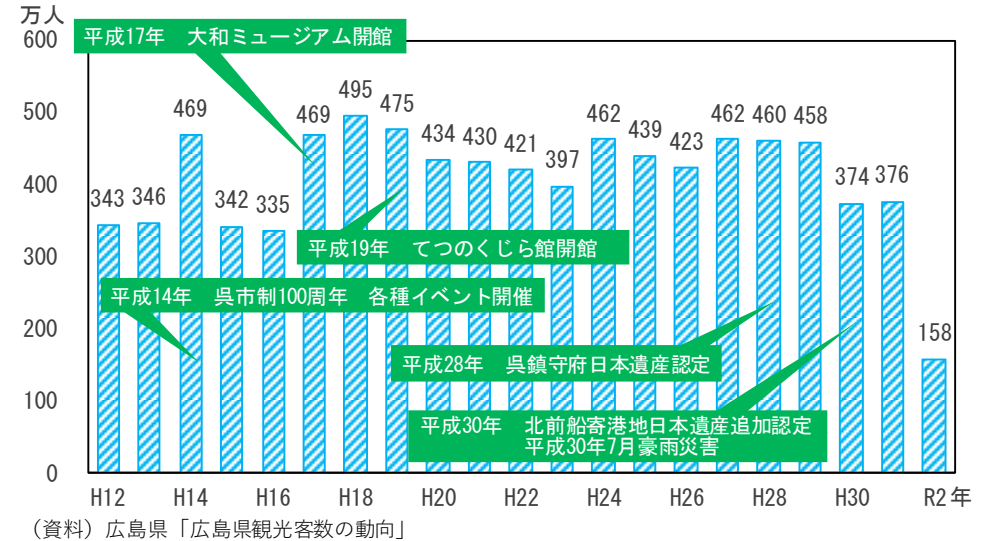
1 観光客数の推移

呉市は、平成15年から平成17年にかけての近隣8町との合併による観光資源の拡大や、平成17年の大和ミュージアムの開館により、平成18年に総観光客数が495万人に達しました。

その後、平成19年にてつのくじら館が開館されたことなどから、総観光客数は400万人台を維持してきました。

しかしながら、平成30年7月豪雨による甚大な被害から総観光客数は減少し、その後は回復傾向にありましたが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、総観光客数は158万人に激減しています。

【呉市の総観光客数の推移】

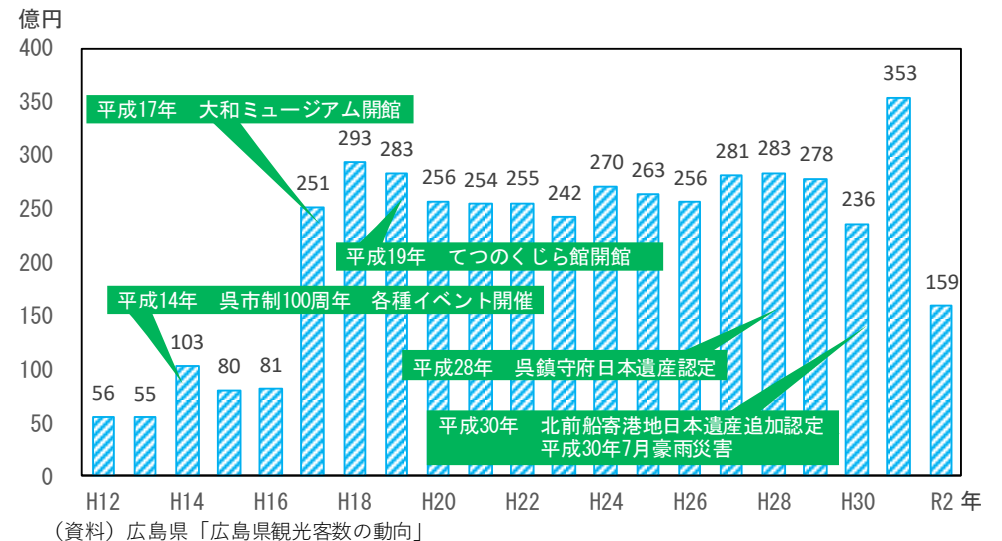


2 観光消費額の推移

呉市の観光消費額は、前述した観光客数とほぼ同様の推移を示しており、近隣8町との合併による観光資源の拡大や大和ミュージアムの開館により、平成17年の観光消費額は前年比約3.1倍の251億円に大幅に増加しました。

その後は、250億円前後を維持し、令和元年に観光消費額の算出方法を県内で統一した結果、353億円に増加しましたが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費額は159億円に激減しています。

【呉市の観光消費額の推移】



3 呉市観光客の傾向（インターネット調査）

観光客の傾向を把握するため、呉市に訪問経験がある方を対象にしたアンケート調査を実施しました。

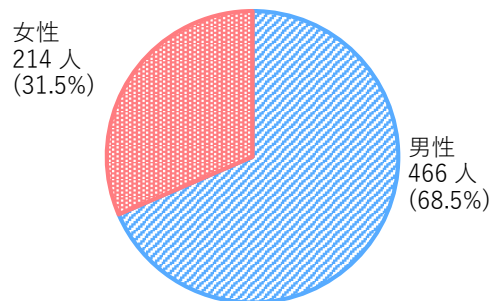
【アンケート概要】

実施時期 令和2年1月～3月

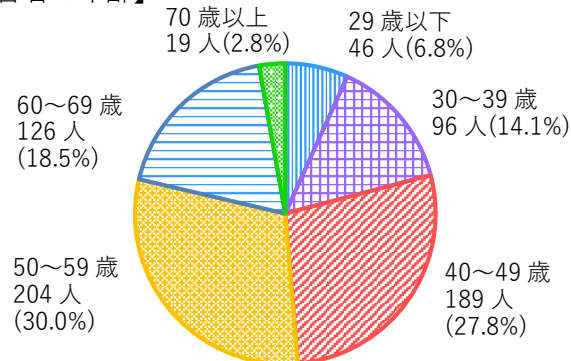
回答者数 全国のアンケート登録モニター37,215人（日本人）のうち、「1年以内に広島県又は呉市を訪問した経験がある方」1,039人にアンケートを実施。うち呉市への訪問経験者680人の回答を抽出

(1) 回答者の属性

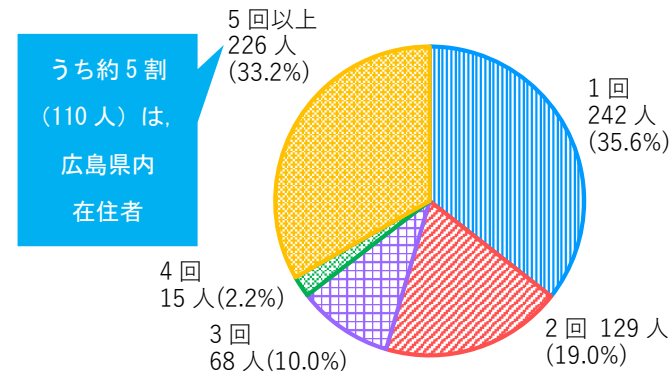
【回答者の性別】



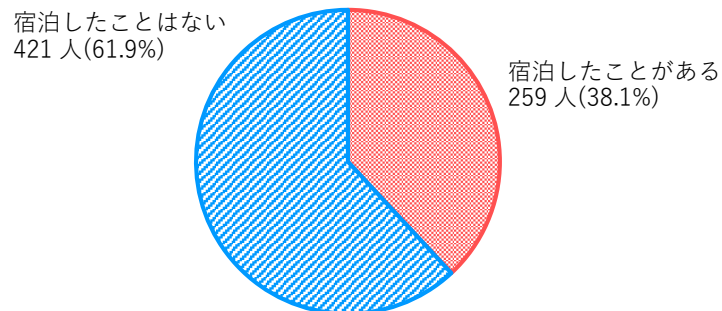
【回答者の年齢】



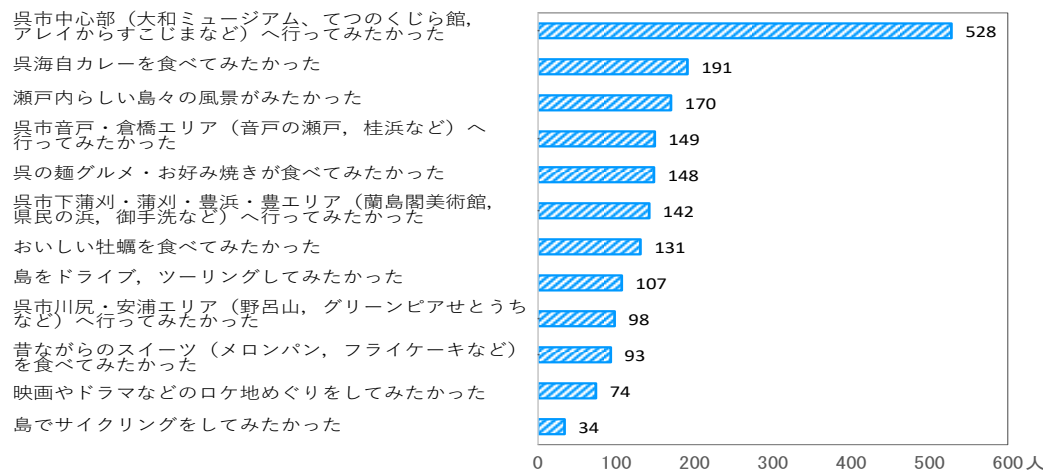
(2) 回答者の呉市への訪問回数



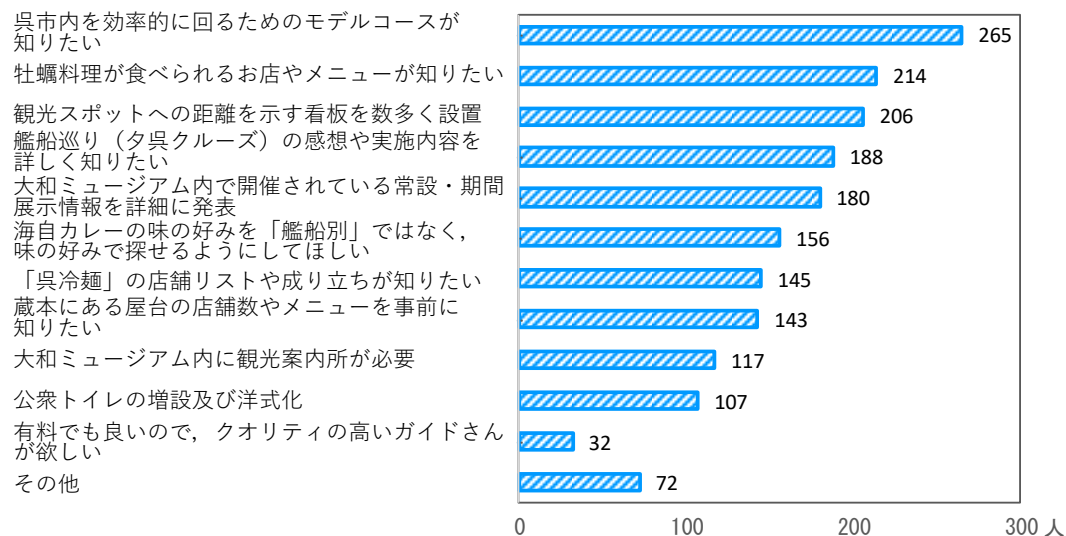
(3) 回答者の宿泊経験の有無



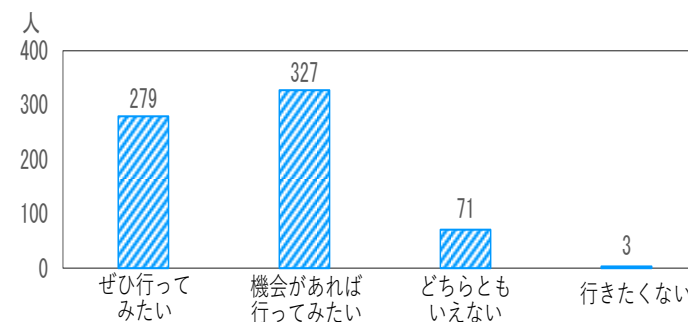
(4) 回答者が呉市を訪問する決め手になったこと



(5) 回答者の呉市観光に対する改善事項



(6) 回答者の呉市への再訪問意向



(7) アンケート調査のまとめ

呉市の観光客は40歳代から60歳代の男性が大半を占め、呉市内で宿泊する人が少なく、大和ミュージアムなど中心部への訪問のみに集中している傾向があります。

一方で、呉市の観光に対する改善事項において、モデルコースを知りたいという意見が多かったこと、再訪問に前向きな人が約9割を占めていることから、ニーズに基づいた取組を充実させていくことで、満足度が向上し、更なるリピーターの獲得につながります。

4 呉市の観光振興における課題

観光を呉の基幹産業に成長させていくための目指すべき姿と取組方針を示すに当たり、呉市の現在の課題を整理すると、次の5項目にまとめられます。

- (1) 観光消費額の維持・拡大
- (2) ターゲットとニーズの把握方法の確立
- (3) ニーズに基づいた呉ならではの観光プロダクトの充実
- (4) 受入体制の充実
- (5) 地域内の連携

1 私たち呉市民の使命と将来の姿，行動指針

(1) 使命（ミッション）と目指すべき将来の姿（ビジョン）

呉市が今後、観光を基幹産業としていくためには、明確な将来の姿を描き、呉市全体でその将来像に向かっていくことが必要です。

そこで、将来、私たち呉市民が「観光産業が呉市の基幹産業になっている」と体感できるようになるための使命（ミッション）と、将来の姿（ビジョン）を次のとおり示します。

使命（ミッション）

観光客に使ってもらうお金を年間800億円にすること！

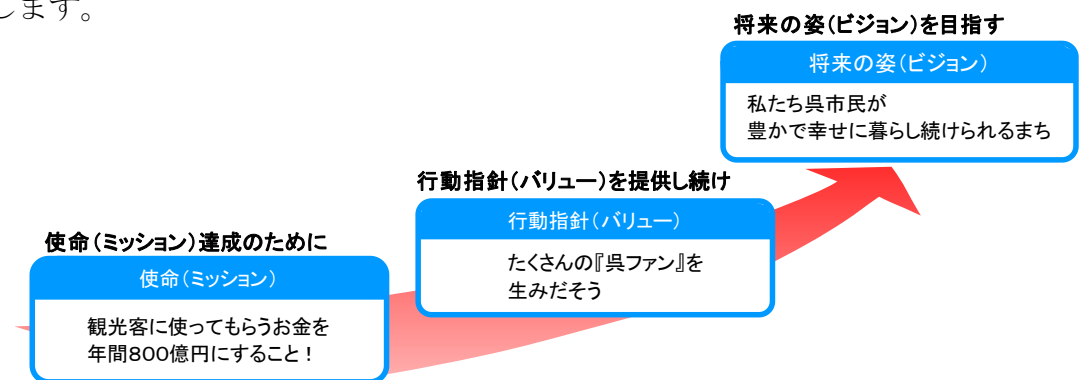
将来の姿（ビジョン）

私たち呉市民が豊かで幸せに暮らし続けられるまち

(2) 将来に向けた行動指針（バリュー）

使命（ミッション）を達成し、将来の姿（ビジョン）を実現するためには、私たち呉市民がどのような気持ちを持って行動していくべきかを示す、共通の行動指針（バリュー）を明確にする必要があります。

そこで、共通の行動指針（バリュー）を次のとおり示します。



呉市の『将来の姿』



呉市の『将来の姿』

観光産業に携わる様々な人が協力し合いながら、呉でしか味わうことができない日常や体験を提供しています。観光客は「また呉に行きたい」「呉にいるあの人にまた会いたい」と感じ、何度も呉を訪れるようになっていきます。観光客と市民の間には交流が生まれ、市民は呉市のことを誇りに感じています。たくさんの観光客が訪れる呉市は、経済的に潤い、多くの若者が今あるものを守りながら新しいサービスや商品などの開発にチャレンジし、生業と雇用が生まれ、多くの市民が幸せを感じています。観光を呉市の基幹産業にしていくためには、このような将来の姿を目指す必要があります。

2 計画期間

本計画期間は、将来の姿（ビジョン）の実現に向けた大切な土台を作る期間として、令和4年度から令和8年度の5年間とします。

3 計画期間中における数値目標

将来的な目標値は「観光消費額年間800億円」ですが、本計画の期間（令和4年度～令和8年度）においては、次のとおり数値目標を設定します。

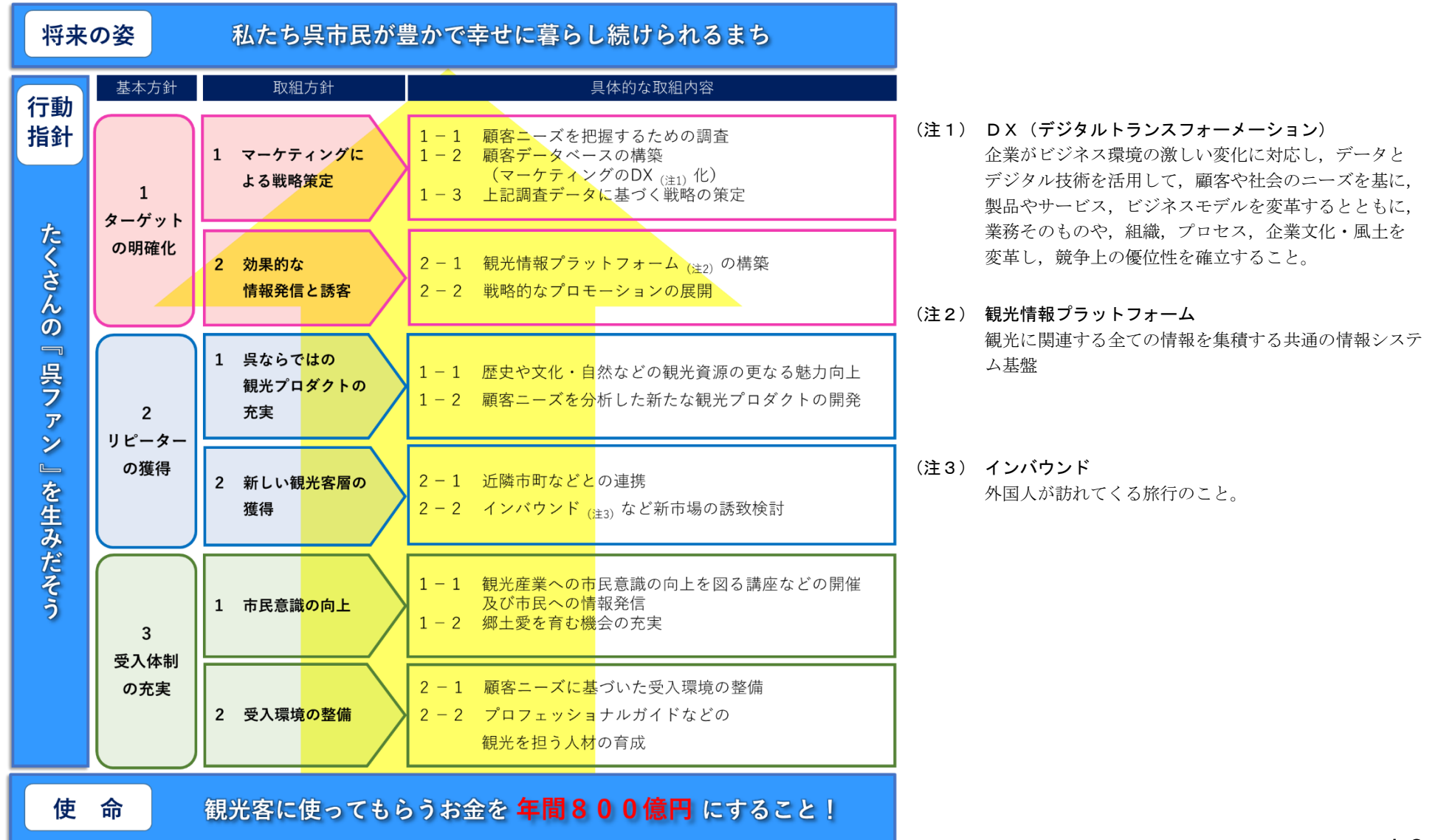
	基準値 (令和元年)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	備考	将来の 目標
観光消費額	249億円	249億円	266億円	283億円	300億円	317億円	毎年 17億円増	観光 消費額 800億円 
一人当たりの 観光消費額	8,300円	8,300円	8,800円	9,300円	9,800円	10,300円	毎年 500円増	
延べ宿泊者数	40.8万人	40.8万人	41.2万人	41.6万人	42.1万人	42.5万人	前年比 1%増	
リピート率	—	今後の調査により設定						

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年の観光客数が激減したため、本計画においては令和元年の数値を基準値とし、「令和4年に令和元年の数値に回復している」という想定の下で数値を設定しています。

このため、計画期間中の数値目標については、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みながら再検討していく必要があります。リピート率については、本計画期間において新たに調査を実施するものであるため、今後調査方法などについて検討を行っていきます。

1 将来の姿（ビジョン）を目指すための取組の全体像

将来の姿（ビジョン）を目指すための計画期間における取組の全体像を次のとおり示します。



2 取組方針

今後の観光施策は、行動指針（バリュー）を念頭に、観光客に繰り返し訪れてもらうことはもちろん、より多くの消費をしてもらう（観光消費額を増加させる）ための取組を実施していく必要があります。

行動指針を念頭に置いた具体的な取組方針を次のとおり示します。

○ 基本方針1 ターゲットの明確化

(1) マーケティングによる戦略策定

呉市では、ニーズに基づくサービスや商品などを提供していくための顧客情報を把握できていないため、デジタル技術などを活用した顧客データベースを構築し、観光客の消費行動などを分析した上で、戦略策定を行っていきます。

【具体的な取組内容】

- 1-1 顧客ニーズを把握するための調査
- 1-2 顧客データベースの構築（マーケティングのDX化）
- 1-3 上記調査データに基づく戦略の策定

(2) 効果的な情報発信と誘客

顧客データベースを活用した効果的な情報発信を行うとともに、呉市の観光情報を一元化する観光情報プラットフォームを構築し、呉市全体で顧客のニーズに即した戦略的なプロモーションを行っていきます。

【具体的な取組内容】

- 2-1 観光情報プラットフォームの構築
- 2-2 戦略的なプロモーションの展開

○ 基本方針2 リピーターの獲得

(1) 呉ならではの観光プロダクトの充実

顧客データベースや調査により、顧客ニーズを把握した上で、既存の観光資源の磨き上げや、満足度の高い新たな観光プロダクトの開発を行い、リピーターとなる『呉ファン』を増加させていきます。

【具体的な取組内容】

- 1-1 歴史や文化・自然などの観光資源の更なる魅力向上
- 1-2 顧客ニーズを分析した新たな観光プロダクトの開発

(2) 新しい観光客層の獲得

近隣市町との更なる連携やユニークベニュー（注1）によるMICE（注2）の誘致、映画やアニメなどのテーマ別観光の推進などを行うことで、国内外から新たな客層を誘客し、リピーターの獲得につなげていきます。

（注1）ユニークベニュー…会議・レセプションを歴史的建造物、文化施設や公的空間等で行うこと。

（注2）MICE…企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の頭文字。多くの集客効果が見込まれる行事・催事などの総称

【具体的な取組内容】

- 2-1 近隣市町などとの連携
- 2-2 インバウンドなど新市場の誘致検討

○ 基本方針3 受入体制の充実

(1) 市民意識の向上

市民一人一人が「観光は自分たちの生活を支える大切な産業である」という意識を持つことができる講座などを開催するとともに、観光が呉市経済に与える好影響を市民が実感できるよう、市内の優良事例などを効果的に情報発信していくことで、観光産業への参画を促進していきます。また、市民の地域への愛着や誇りといった「郷土愛」を育むため、地域の歴史や文化などについて深く語れる学びの機会を提供していきます。

【具体的な取組内容】

- 1-1 観光産業への市民意識の向上を図る講座などの開催及び市民への情報発信
- 1-2 郷土愛を育む機会の充実

(2) 受入環境の整備

スマートフォンなどの検索エンジン機能を活用した地域案内、ニーズに基づいたモデルコースの作成、安全で安心して観光できる環境づくり、プロフェッショナルガイドなどの人材育成等による受入環境を整備し、多様な顧客ニーズに対応していきます。

【具体的な取組内容】

- 2-1 顧客ニーズに基づいた受入環境の整備
- 2-2 プロフェッショナルガイドなどの観光を担う人材の育成

2 計画のスケジュール

本計画については、次のスケジュールで実施していきます。

基本方針	取組方針・具体的な取組内容	令和	令和	令和	令和	令和
		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
1 ター ゲッ トの 明 確 化	1 マーケティングによる戦略策定					
	1-1 顧客ニーズを把握するための調査					
	1-2 顧客データベースの構築 (マーケティングのDX化)		検討・試行			導入
	1-3 上記調査データに基づく戦略の策定					
	2 効果的な情報発信と誘客					
	2-1 観光情報プラットフォームの構築		検討・試行			展開
2-2 戦略的なプロモーションの展開		検討・試行			展開	
2 リ ピ ー タ ー の 獲 得	1 呉ならではの観光プロダクトの充実					
	1-1 歴史や文化・自然などの観光資源の 更なる魅力向上					
	1-2 顧客ニーズを分析した新たな 観光プロダクトの開発		調査による開発			顧客データベースの 分析による開発
	2 新しい観光客層の獲得					
2-1 近隣市町などとの連携						
2-2 インバウンドなど新市場の誘致検討						
3 受 入 体 制 の 充 実	1 市民意識の向上					
	1-1 観光産業への市民意識の向上を図る講座 などの開催及び市民への情報発信					
	1-2 郷土愛を育む機会の充実					
	2 受入環境の整備					
	2-1 顧客ニーズに基づいた受入環境の整備					
2-2 プロフェッショナルガイドなどの観光を 担う人材の育成						
新たな観光推進体制の構築			検討・試行			実走

呉市観光振興計画策定委員会について

1 委員会の目的

呉市の観光振興の基本指針となる呉市観光振興計画を策定するに当たり、観光関係者や学識経験者等から幅広く意見を頂くことを目的として呉市観光振興計画策定委員会を設置し、これまでに4回の会議を開催しました。

2 委員（順不同・敬称略）

氏名	所属・役職等	備考
山田 桂一郎	JTIC. SWISS 代表	座長
九鬼 令和	国土交通省中国運輸局観光部 部長	
神田 佑亮	呉工業高等専門学校 教授	
梅木 敏明	一般社団法人広島県観光連盟 専務理事	
中原 充生	呉商工会議所 副会頭	副座長
盛池 尚教	呉広域商工会 事務局長	
明神 政之	蜜屋本舗株式会社 専務取締役	
平田 己恵子	一般社団法人呉観光協会 事務局長補佐	
井口 秀一	呉飲食組合 理事長	
内野 静香	居酒屋利根本店 取締役社長	
杉原 侑加子	株式会社総合センター 常務取締役	
上元 新一郎	NPO 法人呉サポートセンターくれシェンド 理事長	
角 素子	株式会社 SA メディアラボ 専務取締役	
下野 隆司	NPO 法人 SYL 理事長	
日高 里奈	ゲストハウスおとまち甘藍 オーナー	
中元 順一朗	株式会社中元本店 代表取締役社長	
吉松 里香	スナック「百合花」	
平田 広美	澎湃館 館長	
横山 なぎさ	有限会社バンカー・サプライ	
高島 俊思	コテージ梶ヶ浜ビルックスライドステーション	
井上 明	合同会社よーそろ 代表執行役員	
中村 功芳	NPO 法人アースキューブジャパン 代表理事	
天本 雅也	seaside cafe ALPHA 代表	

3 会議の開催状況

(1) 第1回会議

- ア 開催日 令和2年10月12日
- イ 議事概要 呉市観光の現状等について

(2) 第2回会議

- ア 開催日 令和2年12月4日
- イ 議事概要 呉市観光振興計画（骨子案）について

(3) 第3回会議

- ア 開催日 令和3年2月15日
- イ 議事概要 呉市観光振興計画（素案）について

(4) 第4回会議

- ア 開催日 令和3年3月31日
- イ 議事概要 呉市観光振興計画（案）について

呉市観光振興計画(案)に対する市民からの意見募集(パブリックコメント)について

1 意見募集をする案件名

呉市観光振興計画(案)

2 意見募集期間等

(1) 公表期間 令和3年6月10日(木)から

(2) 募集期間 令和3年6月10日(木)から

令和3年7月9日(金)まで(30日間)

3 計画案の周知方法

(1) 呉市ホームページへの掲載

(2) 呉市役所5階観光振興課、1階シビックモール(国際ソロプチミスト呉広場)及び各市民センター(支所)窓口における配付

4 意見書の提出

意見書に必要な事項(意見内容並びに住所、氏名及び電話番号)を記入の上、郵送、ファクシミリ、電子メール、電子申請又は持参(観光振興課及び各市民センター(支所)の窓口)により提出

5 意見の公表場所

呉市ホームページ、呉市役所5階観光振興課及び1階シビックモール(国際ソロプチミスト呉広場)、各市民センター(支所)窓口

6 今後のスケジュール

6月上旬	呉市ホームページ及び市政だより7月号で意見募集の通知
6月10日	意見募集の開始
7月9日	意見募集の締切
8月上旬	呉市観光振興計画策定委員会へ意見募集結果の報告
8月下旬	産業建設委員会への意見募集結果及び最終計画案の報告
9月中旬	計画の策定並びに意見募集結果及び計画の公表